

A 級コーチ実技試験について

1 動画検定

- 事前に「講習会・練習会」等の主催者へ動画検定を行う旨の許可を得ること。
- 実技試験とする当日の「講習会・練習会」等では、指導者は極力受験者1名のみであること。
- 指導案、指導プラン等を作成し、それに沿って指導を行うこと。ただし、当日は臨機応変に対応してよい。
- 指導時間は指導案、指導プラン等のチェックの観点より、2時間程度が望ましい。最低限1時間半程度は必要。動画記録提出時に合わせて指導案を提出すること。
- 動画検定料は後日、事務局より連絡が入るので、期限までに入金すること。
 - ・動画検定料／5,000円

2 提出用の記録

- 提出用の記録媒体はMP4とする。
- 再提出の可能性もあるため、受験者は必ず原本を保持し、コピーしたものを提出すること。
- 映像、音声の編集は厳禁とする。
- 映像と音声がクリアに記録されていること。特に指導者の声は明確に記録されていなければならぬ。
- 原則として、全体の中での指導者の位置が分かる場所からの撮影が望ましい。
- できる限り、第三者の協力を仰ぎ、講師の表情等のカットも随所である形が望ましい。